

玖珠地区人権協視察研修

玖珠地区人権教育・啓発推進協議会では、十二月十一日に、福岡県春日市の福岡県人権啓発情報センターへ視研修察を行い、十五名の会員が参加しました。

常設展示室は、差別の歴史と解放への道をパネルや模型などを用いて、それぞれの時代と出来事をわかりやすく展示しています。

同和問題教室学習会では、「ケガレ」意識により一部の人が差別を受け始めた歴



福岡県人権啓発情報センターでの学習会のようす

倉・室町時代から現在に至るまでの差別の歴史と解放への努力について詳しい説明をうけ、参加者は人権問題について考える貴重な時間をもつことができました。

玖珠地区人権教育・啓発推進協議会は、自治委員会・民生児童委員などの各種団体や学校PTAなどで構成され、講演会や研修会を通じて人権教育の啓発に取り組んでいます。

平成20年度

「差別をなくす人権標語」入選掲示作品

(18点より玖珠地区の方の作品を紹介します)

ゆうきだし 「いっしょにあそぼ」 「うんいいよ」

小幡 美羽(小田小 1年)

友だちと えがおいっぱい あそぼうよ

緒方 峻太(塚脇小 2年)

けんかして あやまるどころが できるんだ

小野 光輝(春日小 2年)

「ごめんね」と すなおに言えたら いい気もち

大石 慎(小田小 3年)

みんなのね まぶしいえがお たのしいな

長野 優(小田小 4年)

くもっても 心をてらす 仲間たち

立石 晃丈(小田小 6年)

むかいあおう 心と心で まっすぐに

山田 紗矢(春日小 6年)

友だちに 心の橋を かけようよ

太田 麻矢(玖珠中 1年)

伝えよう 心のあいさつ 「ありがとう」

永楽 綾(玖珠中 3年)

「みつけた」 あなたの輝き ほら！そこに

梅木 如月(山浦中 3年)

「ごめんね」とすなおに言えたらいい気もち

くすふれあいホール玄関上に掲げられている人権標語の看板が掛けかえられました。

これは、平成20年度「差別をなくす人権標語」

の入選作品から小田小学校3年生の「大石 慎」さんの作品です。



万年山の

「まんじゅう石」

万年山に巨大な「まんじゅう石」があるのをご存じですか？

先日観光協会玖珠支部と地元自治委員の皆さんが山頂の草切りを行い、立て看板を立てました。

この「まんじゅう石」大きな石が横に二つに割れ、形は「まんじゅう」と言うよりも「ハンバーガー」に近いような気もしますが・・・

つつじ群生地の百メートル程手前にありますので、万年山の登った際には、ぜひご覧ください。

